

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和元年度事業 点検・評価調書

5-II-5

5-II-5

章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり	取組項目	地場産業の活性化
節	II. 伝統文化・地場産業の振興		
事業(施策)名	5 佐渡特産品の高付加価値化	事業主体	佐渡市農業政策課
事業実施期間	H28～R4	関連団体	佐渡地域振興局農林水産振興部、佐渡市農林水産課、佐渡連合商工会
事業概要	<p>【事業目的】</p> <p>○世界遺産ブランドを活用した地元特産品の高付加価値化を推進し、地場産業の活性化を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <p>○地場産品に世界遺産ブランドのイメージを付加することで商品価値を高めるとともに、佐渡金銀山のPRと連動した販売促進等により、地場産業の振興を図る。</p>		
R元事業計画と実績	<p>【元年度計画】</p> <p>●前年度に引き続き、世界農業遺産ブランドマークの認知度を向上させながら認証要件の設定を進める。</p> <p>【元年度実績】</p> <p>●周知、認知度をあげる目的の申請を受け付け、昨年度よりも産品や告知媒体でマークが使用された。認証要件の設定には至らなかったため、引き続き、検討を続ける。</p>		
課題・今後の取組	<p>【課題】</p> <p>■ブランドマークの存在と運用方法の周知を図り、商品のパッケージなど積極的に活用してもらい地場産業の振興につなげる。</p> <p>【今後の取組】</p> <p>■認証要件を設定し、ブランドマークのさらなる活用を図る。ブランドマークを通じてGIAHSの認知度をあげるために、申請数を増やす。関係機関のHPやSNSなどでも連動して発信する。GIAHSは持続可能な農業システムを認定するプログラムのブランドマークであることから、申請者自らが積極的な発信者となりブランド向上に繋げていく必要がある。</p>		
事業評価	<p>【事業の達成度】 [a (b) c]</p> <p>◇概ね計画どおり進んでおり、今後も地元特産品の高付加価値化を推進し、地場産業の活性化を図る。</p> <p>【事業実施の効果】 [a (b) c]</p> <p>【総合評価】 [A (B) C]</p>		

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。